

次の段階に進むために必要な力

モラル・コミュニケーション能力面で必要な力

知識・スキル面で必要な力

- 1. 約束や決まりを守ることができる
- 2. 危険なことに出会ったら大人に相談できる
- 3. インターネット上には危険なウェブサイトや誤った情報が存在することを知っている
- 4. 個人情報の大切さ、他人に漏らしてはいけないことを知っている

- 5. 相手や目的に応じて、適切に文章を書くことができる
- 6. 他人を思いやり、相手の気持ちを考えた行動ができる
- 7. 健康や学習を優先し、節度のある使い方ができる
- 8. メールなどインターネット上での情報発信は、書いた内容の記録が必ず残ることを知っている
- 9. 情報が正しいかどうかを調べて、信憑性を確認することができる

- 10. 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動や文章表現ができる
- 11. よく考えて行動し、自分の行為に責任を持つことができる
- 12. コミュニケーショントラブルが生じた場合には、客観的に自分と相手の状況を判断し、冷静に行動できる
- 13. インターネット上のコミュニケーションは、対面の場合に比べて情報量が制限されるので誤解やトラブルが生じやすいことを知っている
- 14. インターネット上に書き込むことは、世界中に情報を公開することだと知っている
- 15. インターネットを利用する上で必要な基本的な法律やルールを知っている

- 16. 契約の内容を正確に把握し、適切に行動することができる
- 17. 情報社会の一員としての自覚を持ち、責任ある行動ができる
- 18. インターネットの特性(公開性・記録性・信憑性・公共性・侵入可能性)について理解している
- 19. トラブルを事前に予測し、できるだけ回避するための工夫ができる

1. 体験期

2. 初歩的利用期

3. 利用開始期

4. 習熟期

保護者が隣で見守る

リビングルームなど  
在宅している保護者の目の届くところでの利用

家庭の状況、子どもの能力や意志に応じて、  
自室へのパソコン持ち込みも認める

携帯電話による  
インターネット利用

パソコンによる  
インターネット利用

フィルタリング  
サービスの利用

(通話)	保護者など特定の相手とのメール利用を認める	保護者が定めた特定少数サイトの閲覧利用を認める	意見交換やオンライン交流を認める
サイト閲覧を認める	メールの利用を認める	自分の管理するページでの発信を認める(プロフ・ホームペ・ブログ)	不特定多数の場での意見交換を認める(掲示板)
同期的対話利用を認める(チャット)	オンライン交流を認める(SNS)	ネットでの買い物を経験する	